



千葉大学基金 活動報告書 2024

ACTIVITY REPORT



千葉大学
CHIBA UNIVERSITY

日頃より千葉大学基金への温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。



昨年度は「修学支援基金」「若手研究者支援基金」「千葉大みらい医療基金」などの寄付募集に際し、保護者の皆様、卒業生の皆様及び法人様などから、3億1千万円を超えるご支援をいただきました。皆様の思いに沿って、経済的困窮学生への奨学金給付、博士後期課程学生等の若手研究者の支援などに大切に活用させていただきました。ここに改めて心より御礼申し上げます。

千葉大学は、1949年に5学部の新制国立大学として発足し、2024年に創立75周年を迎えました。現在11学部と19の大学院、30を超えるセンターなどから成る総合大学に発展し、学部入学志願者数は10年連続で国立大学第1位

となっています。

そして今年度は新たに「YOKOTE VISION」と題した大学ビジョン「生命、環境、そして社会へ。知の共鳴で未来を拓く千葉大学」を策定しました。「研究」「教育」「社会貢献」「経営」「信頼」の5つの柱で中長期的に目指す姿を示しています。また、ビジョン実現に向けた行動指針として、「『より良く生きる』に貢献しよう」「イノベーションを楽しもう」「大学の基盤を強化しよう」の3項目を掲げ、教職員、学生が一丸となってその実践に努めてまいります。

こうした歩みを進めていく上で、大きな力となるのが、皆様からのご支援です。本学は国立大学法人化以降、国からの交付金が継続的に減額されており、経済的困難を抱える学生や若手

研究者への支援は十分に行うことができない状況です。そのような中で、千葉大学基金は修学支援や研究支援などの貴重な財源となっています。

一人ひとりが自らの可能性を存分に発揮し、生命を輝かせ、より良く生きる環境を整えることが、人と社会を豊かにする――。そんな魅力あふれる千葉大学を、皆様と共に創り上げてまいりたく、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人 千葉大学長
横手 幸太郎



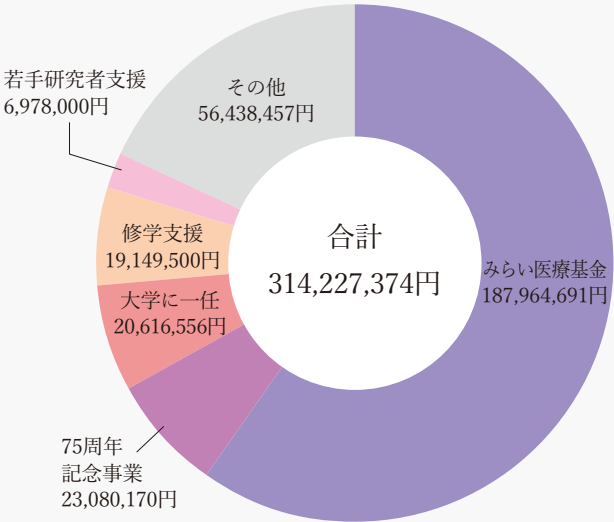
2024年度ご報告

寄付総額 3億1,422万円
寄付件数 2,529件

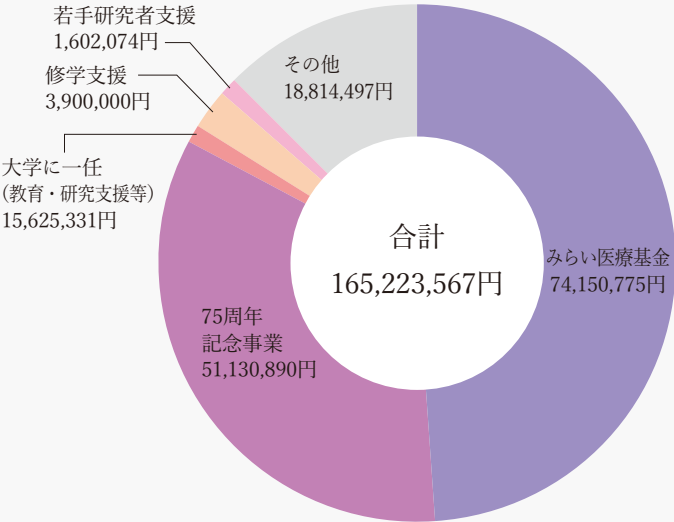
皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

皆さまからいただいたご寄付金は、本学の教育や研究活動などさまざまな事業に活用させていただきます。今後とも何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

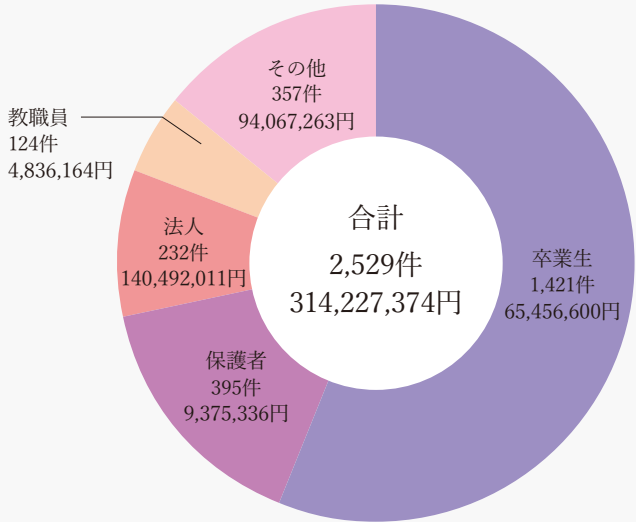
収入



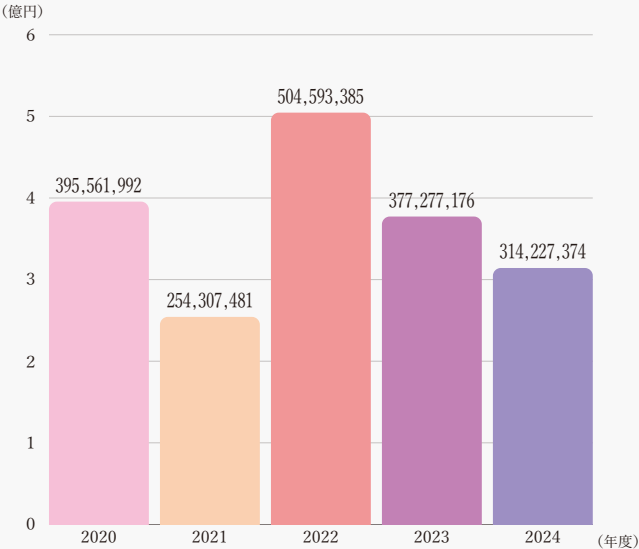
支出



寄付者別内訳



寄付受入額推移



創立75周年記念事業募金ご報告



新陸上グラウンド 完成報告

2024年に千葉大学が創立75周年を迎えるにあたり、記念事業として西千葉キャンパスの陸上競技場の整備をいたしました。この度多くの皆さまからのご支援により無事完成いたしましたので、ご報告申し上げます。ご寄付をいただいた皆さま、誠にありがとうございました。



陸上競技部やアメリカンフットボール部をはじめとした運動系サークル、教育学部の教育課程など幅広く活用されています。生まれ変わったグラウンドで学生たちは、恵まれた環境の中でのびのびと練習に励んでおり、心身の成長につながる貴重な場となっております。

また、11月2日（土）に創立75周年記念式典を開催いたしました。当日はあいにくの雨により体育館での開催でしたが、オリンピックの為末大氏をゲストに迎え、賑やかな幕開けとなりました。



陸上競技部主将 伊東祐輝さん

以前は土のグラウンドで走りづらかったり、足を捻りやすかったりしましたが、陸上競技場が新しくなってから良い環境で練習させていただいております。練習の質が上がり、出来る練習の内容が増えました。
この度はご支援いただき、ありがとうございました。

その他学生からのお礼のメッセージは
こちらから（動画）▶



陸上グラウンド バナー設置のご報告

創立75周年記念事業へ累計300万円以上のご寄付いただいた企業様に対して、謝意として法人様のロゴやご芳名を掲示させていただきました。

株式会社高品ハウジング 様
結設計株式会社 様
株式会社稲毛自動車教習所 様
株式会社桃太郎不動産 様



応援の声



創立75周年記念事業の竣工おめでとうございます。
弊社が記念事業に賛同したのは、純粋に地域・社会への貢献が目的です。寄付を通して学生がのびのびと学び育まれる環境づくりに微力でも関わることができるなら、との思いからです。
弊社は、日本経済の停滞期、失われた30年の中間2007年創業の建設コンサルタントで、水道に関わる業務を得意としています。景気の停滞期にも関わらず、3年、5年、10年と右肩上がりに業績を伸ばし、官庁や業界からの信頼を得、目標も売り上げを伸ばすだけでなく、次第に地域の水道事業に貢献する、と変遷しました。
創業から20年が近づく中で、地元のため、街づくり、人づくりに貢献したい、そんな思いでいた時、御大学から寄付の要請があり、その理念に迷うことなく賛同させていただきました。
水と人と社会を結び、地域・社会に貢献できれば幸いです。

結設計株式会社 代表取締役 山形 浩三 氏



千葉大学で学ぶ皆さんが、学業のみならず課外活動にも意欲的に取り組まれている姿に、深い感銘を受けています。私自身も工学部都市環境システムコースに在学していた当時、多くの学びや人との出会いを通じて、自分の視野が大きく広がったことを、今でも感謝しています。
スポーツは世界共通の「言語」のような存在でもあり、人と人とのコミュニケーションとしても重要なものだと思います。そうした体験は、社会の中でさまざまな立場の人々と関係を築く際に、必ず活かせる機会があると思います。このたびの寄付には、そうした経験を次の世代へつなげたいという思いが込められています。学生の皆さんが、あらゆる可能性をあきらめることなく、挑戦を続けられる環境づくりの一助となれば幸いです。
今後も千葉大学が、自由で多様な価値観を育み、社会に貢献する人材を輩出し続けることを心から願っています。そして、学生一人ひとりがそれぞれの夢に向かって、いきいきと活躍できる場であり続けてください。

株式会社高品ハウジング
取締役部長 山中 敦之 氏
（大学院工学研究科 博士前期課程修了）



サンクスプレート制度とは、各学部への寄付に対する謝意として、寄付者様（企業等）の名称等を、部局が管理を行う教室等の名称に付与する制度です。

一定額のご寄付をいただいた際に、教室等に3年間にわたり別称として掲示させていただきます。

サンクスプレートは、①サンクスプレート（別称、企業ご芳名、商標名及びロゴマーク等で構成されるプレート）と②サンクスインフォメーションボード（企業ご芳名、企業情報の紹介等で構成されるボード）から構成されます。

2024年度は、菊川工業株式会社様、ニチアス株式会社様、マブチモーター株式会社様よりご支援を賜り、各学部の講義室へ掲示させていただきました。

ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

マブチモーター株式会社 様より メッセージ

マブチモーター株式会社は、千葉県松戸市に本社を置く小型直流モーターの製造・販売会社であり、自動車、家電、医療など様々な分野に使用され、特に自動車電装機器用モーターでは世界シェア80%を誇る製品も有しています。

今回、千葉大学への支援として同大学基金に寄付を行い、感謝の意としてサンクスプレート制度の紹介を受け、工学部15号棟110講義室を「Mabuchi Motor Room 110」と命名しました。

マブチモーター株式会社は未来を担う学生への支援を通じて社会発展への貢献をいたします。



サンクスプレート制度について詳しくはこちらからご確認ください。

<https://kikin.chiba-u.ac.jp/corporate>



千葉大学基金では、「遺贈によるご寄付」「相続財産からのご寄付」「お香典からのご寄付」を受け付けております。

頂戴した寄付金は大切に運用しながら、学生の修学支援や教育・研究環境の整備に活用させていただきます。金額の上限・下限は設けておりません。まずはお気軽にご相談ください。

第2回 遺贈セミナーのご報告

7月27日（土）に公益財団法人ちばのWA地域づくり基金様、京葉銀行様のご協力により、第2回相続・遺贈セミナーを西千葉キャンパス内アエレカフェにて開催いたしました。ご卒業生の方を中心に、10数名の方々にご参加いただきました。



本セミナーでは、「幸せなお金の使い方」と題して今後のお金との付き合い方や遺言書で実現できることを解説していただき、本学へ遺贈寄付された方の想いなどをご紹介いたしました。

セミナー後の質疑応答では、活発な意見交換が行われ、遺贈に対する関心の高さがうかがえました。参加者からは「大変参考になった」「お金の使い方について見直すきっかけになりました」との声が寄せられました。

今後も継続的に遺贈に関する情報提供や相談の場を設け、千葉大学基金の趣旨や意義を広く周知してまいります。

ご遺贈をされた方（ご家族）からの声



千葉大学への感謝と未来ある研究者のために

遺言に従い、夫の遺産を勤務した千葉大学に遺贈しました。大学卒業後民間企業に勤めていた夫は「もっと学びを深めたい」と大学院に入り研究者の道を志しました。

遠回りがあっただけに工学部の教員として過ごした30年間は充実しやりがいのある日々だったことと思います。研究室の学生さんとは学外でもスキー、登山、釣りと一緒に楽しみ、心を通わせていました。その方々が卒業後、大学や研究機関、企業等で活躍されていることは晩年まで彼の喜びでした。一方で最近の若手研究者の方が身分、経済の面で困難な状況にあることに懸念と同情を抱いていました。

遺贈は、千葉大学への感謝と共に研究者を志す方々への応援の気持ちからのものでした。



学生のお礼の声を掲載しています。
千葉大学公式 youtube



📖 大学に一任

国際学会に参加してきました

国内外問わず多くの研究者や実践者と交流し、自身の研究や知見を深めることができました。CLIL 教育実践研究分野の課題である学習者への効果検証について議論する経験は、自身の今後に大きな示唆を与えてくれました。ご支援誠に感謝申し上げます。

教育学研究科
修士課程2年 菅谷 美玖さん

CLIL 授業が英語力向上に及ぼす影響を明らかにしたいです。



👨‍🔬 若手研究者支援

実験装置購入と学会への参加が叶いました

実験装置購入により、新しい研究成果につなげることができました。初めて得られたこの成果を学会にて発表し、多くの関連分野の先生方が興味を持ってくださいました。現行のテラヘルツ波応用についても学会のみならず、海外留学や研修を通じて幅広い視野を手に入れることを目指しています。

先進理化学専攻
博士後期課程1年 米田 悠人さん

分野の垣根を超えて世界に発信できる研究者を目指します。



📖 修学支援

経済的に困窮している学生他、能登半島地震の被災により家計が急変した学生 計32名 を支援しました。



お申し込み方法

銀行・ゆうちょ銀行窓口でのご寄付

払込取扱票にご記入のうえ、金融機関の窓口からお振込みください。

クレジットカード・PayPayでのご寄付

千葉大学基金のホームページから
ご寄付をお願いいたします。



遺贈によるご寄付

遺贈によるご寄付も承っております。
詳しくは、千葉大学基金室（043-290-3902）まで
ご相談ください。

お問い合わせ先 千葉大学基金室

📞 043-290-2014

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

メール kikin@office.chiba-u.jp

H P https://kikin.chiba-u.ac.jp

住所 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33



表紙の写真は、2024年秋に完成した工学・情報学系講義棟です。1階イノベーションシアターは講義以外でも使用できるような階段教室となっております。耐震壁はスクリーンとしても使用することができ、また、着脱可能な机によるフレキシブルな段床空間となっているため、ダイナミックな空間が実現できました。

